

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドケアエイトばれっとぶらす (放課後くらぶエイトプラス)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名 (90.4%)
○従業者評価実施期間	令和7年1月3日		令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員に加えて、公認心理士等の有資格者を多く有する事で、余裕を持った配置を行い、見守りなどの安全性に配慮した体制で支援を行っている。	・児発管、保育士や児童指導員など、各分野の研修に参加するとともにOJTを実施し、専門性を高めている。	・様々な研修の受講に加えて臨床心理士や作業療法士等の指導助言により幅広い知識を身につけ、支援の質の向上を図る。
2	・常に心地よく過ごせる環境を提供するとともに、児童の特性を十分に理解したうえで適切な支援を行っている。	・職員間で情報交換やアセスメントを日々確認し合っている。 ・話を聞く、意見を言う、ルールを守って最後まで参加するSSTとなるような声掛けをしている。 ・個々の特性や、発達課題に応じた児童の配置を検討し、小集団遊びを頻繁に取り入れている。	・日々の活動を通して、将来的自立に向けた活動を取り入れながら楽しく学べるように、療育を工夫しながら行っている。
3	保護者との連携や、コミュニケーションが充実している。 (ホームページやライン等のツールも有効的に活用している)	・6か月毎の支援計画の見直しについては支援状況の進捗状況に応じて早めの見直しを行ったり、児童の成長度に応じて行っている。 ・お迎えの際や、れんらくちょうを活用し、家庭や事業所内での児童の様子を共通理解するようにしている。	・継続して保護者に丁寧な説明や情報共有する機会を持つとともに、保護者のニーズを伺いながら信頼関係の維持に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動や、保護者会等の開催による保護者同士の交流への支援、家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	・保護者の就労状況等により交流機会の設定が困難である。 ・利用者の保護者を対象としたペアレントトレーニングや研修会が中々実施できない。	・引き続き保護者に寄り添った対応に努め、保護者同士の交流機会の必要性の検討や、保護者ニーズを伺いながら対応します。 ・継続して研修会や情報提供の機会など適切な支援に努めます。
2	放課後児童クラブや児童館等のこどもとの交流機会が少ない。	・外出機会も少ないことから地域と関わる事が極めて少ない。機会を模索してはいる。	・事業所外の地域との交流機会の必要性の検討や保護者ニーズを伺いながら対応します。
3	・学校との連携	・下校時間が分単位で異なる学校各所にお迎えに行くため、常に時間に追われている事から、ゆっくりと引継ぎを行う事が困難である。 ・学校での児童の様子を何うべく話し合いを申し込んでも時間のすり合わせが難しい現状がある。	・引き続き学校への申し入れを行い機会を得る事が叶うよう打診する。 ・実際に行った引継ぎ内容を、送迎時や連絡帳を通して、保護者に伝えて行く。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドケアエイトばれっとぶらす (放課後くらぶエイトプラス)

公表日 令和7年2月25日

利用児童数 21名

回収数 19/21(90.4%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4		3	活動の様子は写真等で見て貰ってるがスペースについては適当かどうか分からない。	事業所面談の際には活動の様子、子供の表情等を見て頂き、納得いただいているものと判断。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		5	基本、何人職員体制なのかを知らない。	基準に則り、職員配置は行っている。又、専門資格を有する職員の配置も同様にしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		4	エレベーター、手すり等は見た事があるが、子供に分かり易い環境課かどうか分からない。	活動内容等に沿って、部屋の仕切りを変えたりそれに合った導線引き、指示が伝わりやすい環境設定は行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2		4	整理整頓、清掃についてはそれなりに行われていると感じる。	感染症対策を含め、清潔環境の保全には力を入れている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		6	面談の際に支援内容の説明は受けている。	毎月の面談、定期的なモニタリングを基に事業所での進捗状況、併せて、保護者からの要望を汲み取り支援計画に反映させている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			9	子供たち一人一人に遇しているか？合っているかと聞かれればどうなのかと思う事はある。	日々の活動や、個別の支援に関しても事前に職員間で打ち合わせを行いそれぞれの職員が役割を担い、業務に入っている。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	3		3	こちらからの要望については面談等で伝えているので、なされていると思っている。	毎月の面談、定期的なモニタリングを基に事業所での進捗状況、併せて、保護者からの要望を汲み取り支援計画に反映させている。又、必要に応じて計画の見直しも随時行っている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	3		12	分からない。	五領域を基に、本人に必要なと思われる課題に対して適切な支援内容の作成と実施。又、必要に応じてペアレントトレーニング等の家族支援も行う。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			2	出来ているものと思っている。連絡帳などでその日の様子なども伝えて貰っている。	毎日、当日利用の子供の支援目標を確認、共有し、当日の支援に反映させている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				毎月のおたよりにて詳細は確認出来る。日替わりで工夫されていると思う。	ひと月の活動内容については、担当する職員毎に振り分け、起案の後持ち寄り偏りのないように工夫している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1		6	イベント的な事を行う場合は、事前にお便りを貰ったり、結果についても写真等で見て貰っている。	地域の老健施設等の懇話や交流については行ってるが、児童クラブ等との交流については難しい状況にある。今後検討。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				契約の際に説明は受けている。	契約時に必ず行っている。又、変更等、追記等が発生した場合は、随時説明している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				説明して貰っている。	モニタリングの際と、個別支援計画見直し時に行っている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3		6	分からない。	家族支援については、現状では個別で行う事が主である。個人情報に関わる事が多い為。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	3			面談時には話をしている。	事業所でのバイタル、加えて顔色、様子等については都度連絡帳や、急を要する場合は電話連絡等を行っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	3	5	行ってもらってはいるが、不定期である。	極力すべての利用者との面談を図るようにしているが保護者の時間的な部分で折り合いがつかず優先順位順に行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	4		4	分からない。	基本的に、保護者と利用者の立場、気持ちに寄り添うように接するように心掛けている。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1		3	何度か参加しているが、参加者が少ない為交流機会は少ない。	保護者会については実施はしているものの、お仕事の都合上一同会をする事が難しく、今後の課題である。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	5		6	分からない。	苦情対応を含む外部からの意見具申については真摯に受け止め、且つ速やかに対応出来るように体制を整え事に当たっている。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		3	送迎時や連絡帳にて子供の様子は教えて貰っている。	日々の連絡帳にて行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3		2	ホームページにて日々の活動や園外の様子などは配信されている。	ホームページは元より保護者と事業所の個人ラインにて動画等を配信。もちろん同意を得てからの情報共有。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				気を遣っていると聞いている。	コンプライアンスに則り重視している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19				されていると聞いている。	各種のマニュアルについては策定しているものの、すべてを周知出来てはいない。早急に開示する予定。又、想定訓練は履行している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			2	分からない。	毎年6月、10月に実施。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	3		2	安全面で気を付ける事の話は聞いたことがある。	安全計画についても一部説明不足がある為早急に周知徹底を図る。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	6			13	経験していないので分からない。	幸いにして今のところ事故発生に至らず。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				特に不安がったりは無い。	楽しんで、笑顔で帰るを旨に子供の気持ちに立った支援を心掛けている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				楽しみにしている、今日の活動を登校前に聞いたりしている。行き渋りも無い。	学校は行きたがらなくてもプラスには行くと言う意見もある。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2			どちらともいえない。	100%満足を目指します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドケアエイトばれっとがらす（放課後くらぶエイトプラス）				公表日	令和7年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日毎の活動に際し、利用者の特性等を考慮しグループ分け等を行い支援内容の入りやすい環境設定を行っている。（活動スペースも含む）	グループ分けを行った際の職員配置は事前にミーティング等で確認してはいるものかみ合わない時もあり導線等の引き方にも工夫が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動を主導するメインの職員により他の職員へのオペレーションを行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		2つの指導室を分けたり、一体化したり支援内容によって使い分けしている。	車椅子等の身障児童に対する環境設定や導線の引き方にさらなる工夫が必要と思われる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日頃の清掃に加えて、遊具等の消毒を常時行い安心して使用出来るように配慮している。その他の空間についても同様。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		なっている。宿題等の学習を希望する児童やおむつ交換、女児の更衣のスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		終礼での利用者の情報を基に翌日のミーティングにて振り返りを行い課題の掘り起しと対策を協議している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回の評価表を基に改善事項に優先順位を施し業務改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の個人面談（コーチング）を行い、各職員より建設的な意見を集約している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員の選定中。	第三者委員会の設置を検討中。現状では、保護者アンケートを真摯に受け止め業務改善に繋げる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人本部人事部より常に様々な研修案内が成されている。又、事業所内でも、虐待防止、感染症対策といったOJTも行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全員で児童1人ひとりの活動状況をミーティング、フィードバックの場で共有、立案している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者個々に合わせて適切な期間を設定しモニタリングを実施懸隔に対する進捗状況を保護者と共有し計画に反映させている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングを行う前に、職員によるカンファレンスを行い評価内容を児発言に上げている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月の支援記録に利用者毎の単月目標を表記し毎日のミーティング等にて確認を行い支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎月の支援記録に利用者毎の単月目標を表記し毎日のミーティング等にて確認を行い支援を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		日常的な計画の遂行、支援内容の確認など元より、状況に応じてペアレントトレーニングや移行支援など適宜実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で児童1人ひとりの活動状況をミーティング、フィードバックの場で共有、立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員全員で児童1人ひとりの活動状況をミーティング、フィードバックの場で共有、立案している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援と集団活動のバランスを考えながら日案、月案の作成を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		終礼での利用者の情報を基に翌日のミーティングにて振り返りを行い課題の掘り起しと対策を協議している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼での利用者の情報を基に翌日のミーティングにて振り返りを行い課題の掘り起しと対策を協議している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援記録（ケース記録）を朝のミーティングにて意見交換しながら記入し、検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		利用者個々に合わせて適切な期間を設定しモニタリングを実施懸隔に対する進捗状況を保護者と共有し計画に反映させている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		その時その時の状況に応じて利用者に沿った組み合わせ、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由活動等に於いては、本人に見通しを持たせる為、何がしたいか？どうしたいのか？を聞き取り目標設定の中で行動出来るよう声掛けを行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児童発達支援管理責任者、若しくは主任保育士が担当している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		事業所サイドでは状況に応じて常に参画できる体制は作れているが、関係機関との日程調整に苦慮している現実がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		当日のミーティングにて受け入れ態勢の確認、連絡、注意事項等を共有しレギュラー対応に備えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報共有する場合はある。	相談員を通じて児童発達支援事業所とのやり取りが中心となっている。保育園、幼稚園との連携も検討すべき。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現時点では、利用児童が小学生の中心である為就労移行の実績は無い。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		療育支援事業等の打診を行い、必要に応じて依頼している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			機会を模索しているが、現時点で実現出来ていない。年中行事等の機会に打診はしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		極力参加するように心掛けている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳でのやり取り、必要に応じてライン交換など出来得る限り情報共有には努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会等の開催にて意見交換を行っているが、仕事の都合等で全員の参加が難しく、横の繋がりが出来にくい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時や個人面談、送迎時や場合によってはライン等を活用しながら丁寧に聞き取り、計画に反映している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等にて得た情報や、保護者の要望を支援に反映させるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個人面談にて個別支援計画の説明を行い、同意を得ている。面談が難しい場合、送迎時に直接説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会等の開催にて意見交換を行ってはいるが、仕事の都合等で全員の参加が難しく、横の繋がりが出来にくい。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を事業所内に設置、いつでも対応出来るように配慮している。	保護者アンケートの結果から、苦情窓口を把握していない方がまだいる事が分かった為、保護者全員への周知を再度行う必要がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ、フェイスブックにて活動の概要の公表又、個別のラインにて常に情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、鍵付きのスチール棚にて保管又、個人情報の取扱いについてはミーティングで職員に注意喚起している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童発達支援センターの療育支援事業に依頼し療法士等の派遣等を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年中行事の一環として（年末の餅つき等）地域住民に参加、協力をお願いしている。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に2回の避難訓練や自然災害に対するBCP又、感染症防止についても同様に策定し訓練を行っている。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震等の自然災害時におけるBCPに基づき、年に2回以上の避難訓練を実施している。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、若しくは保護者からの連絡に基づき確認、している。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		看護師の配置が無いため、投薬は不可。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		見直し等も含めて、常に安全計画の履行に努めている。	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用契約時や保護者会、個別の面談等を通して安全計画の内容を周知している。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期的に事故防止対策の一環としてOJTを行いヒヤリの内容を精査し危機管理に努めている。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		3か月に1回以上のカンファレンスを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		準備は出来ているものの、現状での事案は発生していない。		